

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	住工混在解消促進事業			会計	款	項目	大	小
				01	07	01	02	03
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内工業系事業所、市民	意図	市内住宅地に所在する工業系事業所の課題と整理。
事業内容	市内住宅地に所在する工業系事業所の課題と整理。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市西深井地先の県道松戸野田線高架(旧有料道路)下を占用し、駐車場としているほか、千葉県指定団地協議会に出席し、情報の収集に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 住工混在解消件数	15	14	15	件	→→	実績による
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・住工混在地域にある工場の移転先を確保するのは難しい。 ・仮に適地を確保できたとしても、多額の費用が必要となるため移転の実現は厳しい状況である。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		780,570	772,100	840,300			
事業費(b)(円)		12,000	12,000	12,000			
うち一般財源		12,000	12,000	12,000			
職員給与費(c)(円)		768,570	760,100	828,300			
人役・職員(人)		0.11	0.11	0.11			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	B 対象が狭すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	県道松戸野田線高架(旧有料道路)下の占用面積の拡大と、工業団地東側、市道213号線の駐車車両の排除の為に看板の設置。	③取組の課題	現状において、住工混在解消のための適地確保は困難である。
②今年度(H27)に実施した取組	占用面積を拡大したほか、市道213号線沿いの植樹帯に交通案内看板を設置した。また、千葉県指定団地協議会に参画し、情報の収集に努めた。	④今後の改善計画	住工混在における移転地等に関する問題が生じた際は産業振興審議会等の意見を踏まえ、効果的な解消法を見出すこととする。